



発行者 地 推 進 委 員 会
 責任者 大 隊 設 施 部
 第 1 号

募集同志獲得作戦

社 長 地 司 令

自衛隊か旧軍とその兵制にかいて最も異なる点は志願制にある。一口に言えば同志の集出である。国防組織としてこれ程、好ましいことはなほなほある。反面同志の教育政治、経済、社会の情勢に左右されやうい。自衛隊は禁足以来、この変化する情勢の中で募集隊員は質的に色々異なる苦勞をしてきたのである。ひるがえつて情勢はといへば、四十八年以來激動的變遷をたうて最大の困難を情勢にあるといふことのできる。現在各部隊をあげて同志獲得作戦を無断して行っているのはこの理由による。

人間の生甲斐というものは、物質的豊かさ、享樂的環境に身を置くことでは決してなく、常に目的意識をもつて苦難して努力するところの存在するものであり、その意味でも独立同志の存在の根本的條件である国防に任ずる自衛官という職業は軍中生甲斐のなる職業といふことのできる。単に待遇日先の利を説く募集だけではなく、この根本的価値、信念をふまえて立派な同志を獲得していかなくてはならない。自衛隊における二年留取は四年留の勤務は、現在世の中で最も欠けている正しい國民教育、人間形成の場を与え、将来発展の素地をつくることを信じて進むべき。

同志獲得について

札幌地連若原沢募集事務所長

数年来、特に近年人半不足の社会的な問題とより自衛隊に在りても募集に重要施設として大きくとりあげられております。ところが募集は自衛隊のみが特に困難を極めているのでなく一般の社会事業においても必死ともいえる求人作戦を講議してゐるものが現状です。募集に全きまでの入隊実績を示されを要はその五〇%余が所員以外の者からの情願提供をもとに説得入隊させたものでありしかばその成果が大であるかを如實に物語つておられます。今や社とん地をあげて募集の協力を願ひておられますか自衛隊の人的面からの充実情願を維持するもの一人一人が広範囲であるの心構えが待望の言われた「足止め、手直し、口直し」をモットーに「何時でも何処でも、誰にでも」を合言葉として募集情報の取集に一層の努力を期待しておられます。

激 励 金
 ありがどう！
 1月28日
 8,970.00円
 現在

同志獲得事務所

大隊全隊員諸君のご厚意により同志獲得事業推進のため募金をしました。同志獲得チームは連日悪戦苦闘してありますが、皆様の暖かいご支援を得て勇気百倍、目標の達成にまい進いたします。

本務に非ずとは言え、重大な使命と目覚して、募集広報員に技術は劣るといへども、熱意と誠意、だけは誰にも負けない意気込みで取り組んでおります。

又、皆さんの入隊情報ほどチームを勇気づけるものはありません。どんな小さなことでも結構です。お知らせ願ければ幸いです。

小さな情報 大きな成果 (副大隊長)

ご存知ですか？



合格基準

- 身長 一五五センチ
- 体重 四七キロ
- 胸囲 七七センチ
- 試験日 5つでも

同志獲得表彰基準

- 一名 同志獲得賞
- 二名 第五級賞詞
- 三名 第四級賞詞
- 四名 第三級賞詞

主務者 副大隊長 青柳三佐
 リーダー 情報幹部 坂岡二尉
 (同志獲得の大ベテラン)

本管中隊 三曹 大宮 勝徳
 (募集班勤務の経験豊か、職実と熱意と努力の人)

第一中隊 二曹 工藤 之男
 (豊満な経験と土地勘は同志獲得の大きき武器である)

第二中隊 一曹 小林 良一
 (北方募集所の後生、気をそらさぬ巧みを話術は定評あり)

第三中隊 三曹 中野 勉
 (職実で温和、外見に似ず、暖かい)

奮闘りて



ヒソと

咲きけり 福寿草 亥山

今昔物語



「昔はよかつた」
 旧い隊員、OBのよく言うセリフである。この言葉は思い出を美化するためにはなないだろう。戦争の過酷に薄皮が冠る間もなく組織された自衛隊、米軍の指導と

やらで意志の疎通も悪く、創設期に有りがちな混乱もウズ巻いた。世間には不況風が吹きまくり失業率はあふれ、入隊競争率は十倍を超える所もあつたと言う。朝鮮動乱から世は神代東風と言われ好況に沸き、今日の経済大國の基を築いた。

二士(二査) 初任給日給一五〇円 月額 四、五〇〇円であつた。

「今」
 国内外の世情は激然とし、物価高にあえぎ、労働力過剰となりつつあり、重工業は減産、商工は縮小、この厳しい世情にあつて募集隊は過日苦闘を強いられている。國の未來を支える青年の募集はないのか？青年の志願開始が遅れているのか？

「今」それは成々が我々の自衛隊の未來の尤もに、全隊員が一人一人一掃奮闘しなくてはならない脚である。

月額四万三千五百円 (約十倍)

「未來」
 悪まれた環境で助む若者、教育志願制度となつて、隊友組織も強化され國內的にも大きな影響力を示している。自衛隊の地位は確固としたものとなり、最も相手を軍団で知られる部隊は國隊に選とんし、各國武官の視察がひんぱん訓練は厳しく重点的となり、隊員福祉は増進して、生活設備の整つた宿舎、官舎が与えられる。

初任給 約三十万円に足達し、背広上下は良いものでも約三万円 身分、衣食住とも安定して自衛隊は国防軍になつていよう。

同志獲得情報と

入隊者の状況

十一月十九日から

一三四件

情報入手件数

五名

入隊者数

今年度募集目標

六四名

募集事務所

一〇二施大

業務隊

諸隊

入隊者の現況

既入隊者

入隊予定者

計

計

計

計

計

計

計

計

計

計

計

計

計

計

計

計

計

計

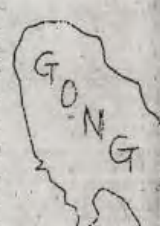
計

計

計

計

計



募集難、われわれはこの現状をいかに打開するかと言ふことに心を砕いている。又、現状に合つた可能な限りの方法で打開を試みている。直接募集を担当している隊員は、それなりに困難に打つた時の使命感に燃えようとも、報われぬ努力に鬱々と萎しなぬ日もあることであろう。その労苦は筆舌に尽し難いものである。まして北国の最も寒冷期と重なつた焦燥感は一層募集員を感り立て、いることであろう。われわれもその任に非ずといつて安閑としておられるものではない。後輩を育て創り出すことは現職自衛官の任である。

殊更に募集行動をとることはなくとも休日の外出休暇等での行動時に、常に「募集」の二字を必裏に植へつけておいて欲しい。

映画を観る時、街を歩く時、お酒を飲む時、ダンスをする時、故郷に便りを書く時、その二字がきつと何かをわれわれに与えてくれるだろう。

個人にも組織にも必ず短所もあれば長所もある。長所を挙げて短所を理解することがこのことにも肝要である。

目標にむかつて「手まめ、口まめ、足まめ」に、みんなの力がこの「募集」の二字に向けられる時、われわれの自衛隊の組織と前途は益々輝やかしいものとなるに相違ない。

いみじくも総監は、募集の要訣は「手まめ、口まめ、足まめ」にあると言われた。その任にない隊員といえども、もつて踏まずべしである。

募集十訓

- 一 すべてを目標達成に指向せよ
- 二 熱意と努力はすべてを可能にし、必ずむくわれる。
- 三 あらゆる状況は我に有利に活用せよ。
- 四 流動する状況の変化に即せよ
- 五 条件は同じ、彼も人、我も人
- 六 今一步、この一言が実を結ぶ
- 七 常に一步前へ、先取りせよ。
- 八 決定権者と話をせよ
- 九 あせるな、せくな基礎を守れ
- 十 情は人のためならず

「勇者、猛者」

同志獲得月間に入つて一ヶ月足らずの間に五名もの若者を受験させた猛者がいる。

優秀者三員(三中)その人である夜うち、朝がけは言うに及ばず、時として夜中まで論議と説得に務め獲得したこともあつた。相手によつて出動前に出かけることもしばしばだとか。

熱心さと果敢との成果であろう。感奮として我々もまい進したものである。

編 集 後 記

昭和四十八年度の岩見沢募集事務所の募集目標(駐とん地募集目標)は78名である。この目標を駐とん地全員が一致団結して一日も早く獲得する意欲で表題を「78便り」とした。

現在全員の協力により駐とん地としては30名(この内同志獲得分として大隊が2名、会計隊1名)あり、あと48名を3月までに獲得しなければならぬ厳しい状況でありますので、年度末で種々多忙の時期ではありますが、益々のご協力をお願い致します。

又、この目標を獲得するため駐とん地としては3月末まで「同志獲得強調月間」を展開しており、ご支援をお願い致します。

今後同志獲得に関する情報その他参考となる事項がありましたら「78便り」に掲載したいと考えておりますのでドンドン投稿して下さい。



編集子